

製品名: RNase III Drosha ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17277**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	160kDa

抗原情報

遺伝子名	DROSHA
別名	DROSHA; RN3; RNASE3L; RNASEN; Ribonuclease 3; Protein Drosha; Ribonuclease III; RNase III; p241
遺伝子 ID	29102.0
SwissProt ID	Q9NRR4
免疫原	抗血清はヒト RNase III Drosha 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 774-823

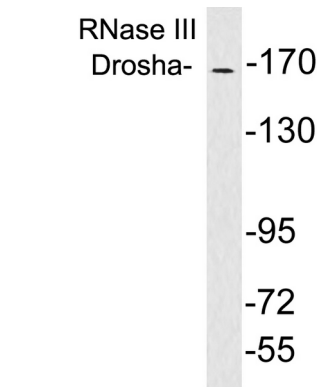
背景

ドロシャリボヌクレアーゼ III (DROSHA) ホモサピエンス この遺伝子は、二本鎖 RNA 特異的リボヌクレアーゼ (RNase) III をコードし、マイクロプロセッサータンパク質複合体のサブユニットとして機能し、マイクロ RNA (miRNA) 合成の初期処理段階を触媒します。コードされたタンパク質は、核内で一次マイクロ RNA (pri-miRNA) からステムループ構造を切断し、前駆体 miRNA (pre-miRNA) を生成します。pre-miRNA はその後、さらなる処理のために細胞質へ輸送されます。この遺伝子の機能的コピーを欠損したヒト細胞株では、標準的な miRNA 合成が減少します。この遺伝子の体細胞変異は、腎臓がんのヒト患者において観察されています。 [RefSeq 提供、2016 年 9 月],触媒活性: 5'-ホスホモノエステルへのエンドヌクレアーゼ切断,補因子: マグネシウムまたはマンガ,機能: 核内におけるマイクロ RNA (miRNA) プロセシングの最初のステップ、すなわち pri-miRNA を切断して pre-miRNA を放出するステップを実行する。pre-rRNA プロセシングに関与する。二本鎖 RNA を切断しますが、一本鎖 RNA は切断しません。 ,オンライン情報:RNA のダークサイド - 2007 年 10 月号第 87 号,類似性:1 つの DRBM (二本鎖 RNA 結合) ドメインを含みます。 ,類似性:2 つの RNase III ドメインを含みます。 ,細胞内局在:細胞周期の S 期に一部が核小体に移行します。 ,サブユニット:Sp1 と相互作用します。 ,組織特異性:遍在性。 ,

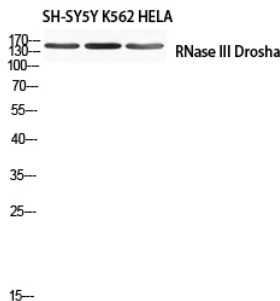
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、RNA プロセシング RNAi、ダイサー、核シグナル伝達経路、核受容体、核膜孔複合体

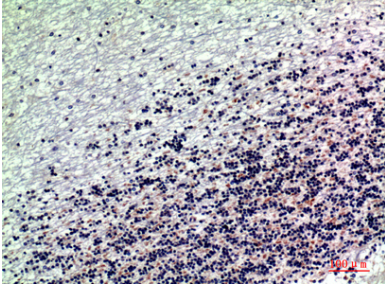
画像データ



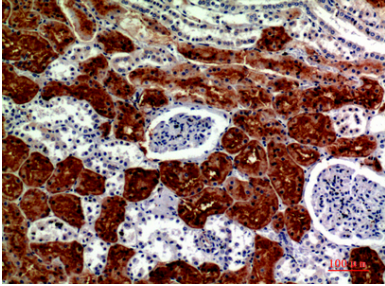
RNase III Drosha 抗体を使用した脳組織溶解物のウエスタンブロット分析。



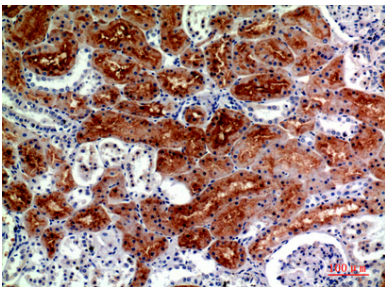
SH-SY5Y K562 HELA の RNase III Drosha 抗体を用いたウエスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された